

学習指導要領の〔共通事項〕で示された「音楽を形づくっている要素」を 知覚・感受させる短時間活動“ムジカサイズ”の開発

教科指導重点コース 造形・創造科学系
今井良剛

1 主題設定の理由

(1) 自身の反省と授業改善の急務

筆者のこれまでの授業実践では、音楽表現の工夫と改善について子どもたちに十分に思考させず、指導者の考えを一方向的に押し付ける授業を行ってきってしまった。しかし、音楽科における主体的・対話的で深い学びを追求する過程において、「音楽を形づくっている要素（以下、要素と略記）」を視点にして、子どもたちが主体的に音や音楽を思考・判断・共有して音楽表現することが重要であることに気がつき、自身の授業改善が急務であると考えた。

(2) 学習指導要領から

学習指導要領では、深い学びの鍵として教科ごとの「見方・考え方」を働かせることが重要になると示されている。副島(2017)によると、音楽科における深い学びが実現するためには、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動が必然であり、音楽的な見方・考え方を豊かなものにしていくことが、生涯にわたって生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わっていく際に大切であると説明されている。¹⁾また、中学校学習指導要領解説(2018)には、音楽的な見方・考え方を働かせるとは、「要素」とその働きの視点で捉えたことを、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けることであると考えられると記されている。²⁾副島(2017)によると、これらの考え方が、音楽が存在する意義や価値についての認識が一層深まっていくことに繋がり、音楽を学ぶ意味の自覚が促されると述べている。³⁾以上のことから、学習指導要領の〔共通事項〕で示された「要素」とその働きの視点で、音や音楽を思考・判断・共有する活動を継続的に取り入れることが、自身の授業改善のポイントになると考えた。

(3) 生徒の実態

実践に先立ち、実践の対象とする中学3年生1学級35人に対して、アンケートによる実態調査を実施した。これによって、学級の約9割の生徒が音楽科の授業に対して好感をもっていることが分かった。しかし、音や音楽を聴いたり考えたり、音楽表現したりするための視点となる「要素」を知らないと回答した子どもが、7割を超えることが明らかになった。加えて、約3割の子どもが「要素」への知識があると回答し、約4割の子どもが「要素」を意識しながら音楽表現を行っているという回答した。この回答には矛盾があり、何ら

かの音楽的な意識をもって音楽表現している実態はあるが、曖昧な状態であり、自分たちの思いや意図を具現化するための「要素」を視点にした、音楽表現の明確な方法を知らない子どもが多いことが推測できる。

日頃の授業からは、細かな音符や付点のある複雑な「リズム」をもった、中ぐらいの「速さ」の曲を聴いたときに、「リズム」の複雑さを「速度」が速いと捉え、「速度が速くて元気な雰囲気である」と誤って答えてしまうような、「要素」について知覚したことと感受したことを正しく組み合わせ、共有することができない子どもが少なくない実態があることを把握している。

以上のことを受けて、自分たちの思いや意図を具現化するための「要素」を視点にした音楽表現の明確な方法を知らない子どもが多いことや、知覚と感受を正しく組み合わせることができない子どもが少なくない実態を改善したいと強く思った。

2 研究の構想

(1) 研究の目標

子どもたちが、音や音楽を思考・判断・共有して、主体的な音楽表現の工夫と改善ができるようになることを目標とし、「要素」とその働きを視点にした活動を取り入れて、自身の授業改善を行う。また、音や音楽を聴いたり考えたり、音楽表現したりするための視点となる「要素」を知らない子どもが多い実態や、知覚と感受を正しく組み合わせることができない実態を改善する。加えて、自分たちの思いや意図を具現化するための方法を知らない子どもが多い実態を改善する。

(2) 研究の仮説

まず、音や音楽の相違点や共通点の比較聴取や、自分たちの演奏とモデルとなる演奏の比較聴取などの活動を継続的に設定し、「要素」の知覚と感受を促すことで、「要素」を知識化し、知覚と感受を正しく組み合わせ、音や音楽を批評することができるようになるであろう。

次に、比較聴取で聴き取ったことを実際に歌ったり演奏したりして確かめることや、意見を交流し合いながら「要素」の視点で音楽表現を試行錯誤することによって、「要素」を視点にした技能を向上させ、自分たちの思いや意図を具現化することができるようになるであろう。

そして、年間カリキュラムを作成し、1年間に多くの「要素」を取り扱ったり、1時間の授業ごとの教材

や、その時間ならではの特定の「要素」を抽出して、指導内容の明確化・焦点化した授業を構成したりすることで、「要素」とその働きの理解を深め、子どもたちが主体的に音や音楽を思考・判断・共有して音楽表現の工夫と改善につなげることができるであろう。

(3) 生徒の実態から考案した手だて

①「習得型」「活用型」「探究型」の“ムジカサイズ”

音や音楽を思考・判断・共有するきっかけとなる“ムジカサイズ”を考案した。“ムジカサイズ”とは、ムジカ(イタリア語で音楽の意味)とエクササイズ(練習の意味)を組み合わせた造語であり、10分前後の短時間活動として、授業の導入に配置する。「習得」「活用」「探究」を意識して、「習得型」「活用型」「探究型」の3種類で構成した。活用するワークシートを工夫したり“ムジカサイズ”を基盤にした年間カリキュラムの作成や授業を構成したりして、子どもたちが主体的に音や音楽を思考・判断・共有することによって、音楽表現の工夫と改善につなげる。

「習得型」“ムジカサイズ”

音や音楽の相違点や共通点の比較聴取による思考・判断・共有を通して、あらかじめ抽出しておいた特定の「要素」を知覚・感受して捉える。そして、適宜、捉えたことを実際に音楽表現して確認する。さらに、知覚と感受を関わらせながら「要素」とその働きを理解して、知識として習得する。

「活用型」“ムジカサイズ”

既習済みである、あらかじめ抽出しておいた特定の「要素」を提示し、これを視点にして、音楽表現に課題のある自分たちの歌唱や演奏を録音した音源を聴く。そして、「要素」を視点にして、どのような音楽表現の工夫と改善をすることができるのか、思考・判断・共有し、「要素」を活用しながら音楽表現を試行錯誤する。

「探究型」“ムジカサイズ”

まずは、モデルとなる歌唱や演奏の音源を聴く。そして、既習済みである複数の「要素」の中から1つを選んで焦点化し、選んだ「要素」の視点で、自分たちの音楽表現に取り入れることができることを探す。さらに、小グループの形態で思考・判断・共有して、音楽表現の工夫と改善に向けて探究する。

②知覚と感受を正しく組み合わせるワークシート

“ムジカサイズ”で活用するワークシートは、知覚と感受を正しく組み合わせることができるように、次のような形式を原則とした。まず、音や音楽の相違点や共通点の比較聴取を通して知覚・感受したことを「雰囲気の違い」や「雰囲気の共通点」などの「雰囲気的なこと」を記述した。次に、「雰囲気的なこと」は、何が原因で醸し出されているのか因果関係を考へて、知覚した「要素」が伴う特徴や構造の働きなどの「質的なこと」を「その原因」として記述するようにした。そして、扱う「要素」をキーワードとして記入する枠

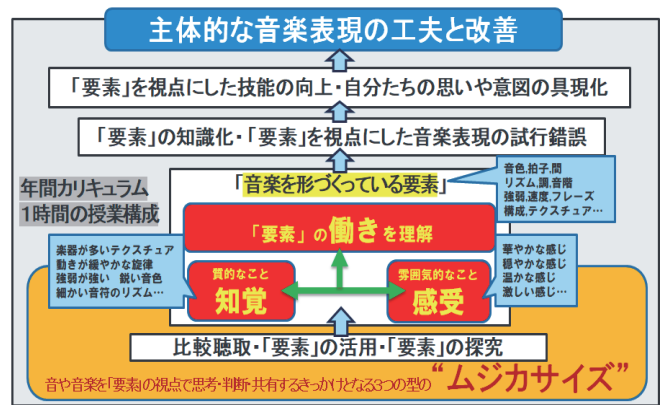
を設けて知識として習得したり、知覚と感受や「要素」の働きを関わらせながら感想を記述する枠を設けたりすることで、知覚と感受を正しく組み合わせることができるようにした。なお、その時間の中心となる学習活動で取り扱う教材によっては、ワークシートの形式や内容に若干の違いはある。

③“ムジカサイズ”を基盤にした年間カリキュラムの作成と授業の構成

より多くの「要素」を取り扱うことができるように考慮した年間カリキュラムを作成する。また、中心となる学習活動で取り扱う教材や題材に応じて、その時間ならではの特定の「要素」を抽出して、指導内容を明確化・焦点化し、「要素」とその働きについて理解を深めることができる“ムジカサイズ”を授業の導入として配置する。その後、中心となる学習活動につなげるようにする。

中心となる学習活動では、“ムジカサイズ”によって理解を深めた「要素」を視点にし、音や音楽について思考・判断・共有する、一斉、小グループなどの形態による対話的な活動から、音楽表現の工夫と改善のために試行錯誤する機会を設定する。また、教師が子どもに働きかけて、音楽表現における「要素」への意識を喚起し、自分たちの思いや意図を「要素」の視点で具現化することができるようにする。

(4) 研究構想図



(5) 先行研究の考察

①【共通事項】で示される「要素」について

学習指導要領の【共通事項】では、「要素」が示されている。これについて増田(2019)は、【共通事項】は「音楽の言葉」とも言え、音楽の授業において「音楽の言葉」を知識として理解していると、より豊かな思考・判断・表現ができるようになると述べている。⁴⁾

また、平野(2017)は、【共通事項】は「音楽をみんなのものにする」ためにあると述べ、【共通事項】を通することで、全員が音楽について同じ土俵で考えられるようになり、音楽に関わることができるようになると述べている。⁵⁾

筆者は、公教育の音楽科の授業は、どのような子どもであっても理解することができる内容でなければなら

らないと強く考えている。そのため、実践する“ムジカサイズ”を基盤とした、年間カリキュラムの作成や授業の構成においては、[共通事項]で示されている「要素」を視点にして考案することにした。

②短時間活動や常時活動について

中島(2017)は、音楽科は、積み上げて子どもを育てていく部分が多いと述べている。加えて、授業の始めに取り組む音楽遊びやリコーダー、歌などの短時間帯でできる常時活動については、平成10年の学習指導要領改訂によって音楽の時間が少なくなったことを受けて、音楽の基礎的なことを毎時間行う試みから始まっていると説明し、積み上げることが常時活動の最大の意味であると述べている。⁶⁾

そこで、“ムジカサイズ”を常時活動として、「要素」の視点で音や音楽を思考・判断・共有する経験を積み重ねることで、子どもたちが主体的に音楽表現の工夫と改善を行うことができるようにしたいと考えた。

③自分たちの歌唱や演奏の録音を聴くことについて

新山王(2011)は、子どもに身に付けさせたい音楽の力として、「違いに気づく力」を挙げている。そのため、模範演奏や友だちの演奏の比較、自分自身の演奏と他者の演奏の比較、練習前と練習後の比較等を行い、清濁・良否等の違いを聴き取らせて自覚させることの必要性を述べている。⁷⁾

更なる音楽表現の工夫と改善につなげるためには、モデルとなる歌唱や演奏と自分たちの歌唱や演奏の録音を比較聴取し、自分たちの音楽表現を客観的に捉えてモデルとの違いに気づく必要があると考え、“ムジカサイズ”の内容に、自分たちの演奏や歌唱の録音やモデルとなる音源を聴く機会を盛り込むことにした。

④「習得」「活用」「探究」について

小島(2007)は、「習得」「活用」「探究」の学習は、基礎的・基本的な知識・技能と主体的な学習能力をつなぐものとして強調されていると述べている。また、各教科の学習指導において基礎的・基本的事項の確実な「習得」を目指す指導方法の工夫が大切であると説明している。そして、「活用」については、学習した内容や方法を実際に用いて問題解決を行わせるような場面を設けることが有効であると説明している。さらに、「探究」については、自分で課題を設定し、自分で追究する学習の充実が考えられると説明している。⁸⁾

これを参考にして、「要素」の知識化を目指す「習得型」「ムジカサイズ」、「要素」を活用して、音楽表現の工夫と改善を目指す「活用型」「ムジカサイズ」、モデルとなる演奏から自分たちの演奏に取り入れたいことを「要素」の視点で探し、求める雰囲気や醸し出すためには、どのように演奏したら良いかを追及する「探究型」「ムジカサイズ」を考案することにした。

⑤知覚と感受の行き来と順番性について

高倉(2017)は、「知覚・感受」はセットで必要であ

り、知覚と感受を行き来することが大切であると述べている。また、知覚と感受のプロセスについてシンバルを例に挙げ、「シンバルが鳴っている」ということは、誰もが聴き取れて理解できる「知覚」であり、そこからの「どんな感じがするのか」というのが人それぞれ違うのが「感受」であると述べている。⁹⁾

山崎(2012)は、必ずしも知覚のほうが感受よりも原初的というわけではなく、知覚があってから感受にいき着くわけではないと述べている。また、知覚と感受の順番性も明確にできない場合もあると説明している。¹⁰⁾

「習得型」「ムジカサイズ」では、相違点や共通点などの音や音楽を比較聴取することで、特定の「要素」に気づかせることを目標としている。予め、「シンバルの音色を聴きましょう」というような、「要素」の視点で聴くポイントは示さないため、感受した「雰囲気的なこと」を先に考えさせてから、知覚した「質的なこと」は何であるのかを考えさせた方が良いと判断した。よって、本実践では、感受したことから知覚したことを捉えさせる順番を原則とすることにした。実践では、感じ取った「雰囲気的なこと」は人それぞれ違うことを考慮し、感じ取ったことから誰もが聴き取れて理解できる「質的なこと」を知覚と感受を行き来しながら結び付けて、知覚と感受を正しく組み合わせることができるようになりたい。

⑥指導内容の明確化・焦点化を図る特定の「要素」の抽出について

小島(2015)は、音楽は様々な「要素」が複合的に絡み合っているため、「要素」の関わり合いを無視した授業では子どもの学習対象が明確化されず、学力育成は望めないと述べ、授業の中で指導内容の明確化・焦点化をすることが重要になると説明している。加えて、楽曲を特徴づけている音楽の構成要素を指導する事例として、尺八音楽から「音色」を抽出し、指導内容の明確化・焦点化した実践を紹介している。¹¹⁾

“ムジカサイズ”を基盤とした年間カリキュラムや1時間の授業の構成を検討する際には、指導内容の明確化・焦点化を図り、その時間や、その教材ならではその特定の「要素」を抽出して、取り扱うことにした。

⑦“ムジカサイズ”の比較聴取について

比較聴取の有効性については、江藤・小島(2006)が先行研究において、知覚と感受の因果関係を見やすくする機能をもつと考えられると述べている。¹²⁾

実践では、相違点や共通点などの音や音楽を比較聴取することによって、特定の「要素」の知覚と感受の因果関係を考えさせながら、子どもたちに「要素」と、その働きについて理解させたい。

⑧聴く活動を取り入れることについて

聴くことの重要性について、新山王(2011)は、鑑賞では自らの音楽的・表現的欲求と照らし合わせながら

聴くことで、絶えず情動が湧き起こっていて、演奏を聴くという行為そのものがすでに創造的な活動を行っていることに他ならないと述べている。¹³⁾また、鑑賞とは「音や音楽に対する思考を伴った働きかけ」であり、音楽の諸要素に注目させて音の塊や羅列に音楽的意味や価値を付加し、感情や情動を呼び起こす仕組みや仕掛けを感じ取らせるような活動の重要性を指摘している。¹⁴⁾

中学校学習指導要領解説(2018)では、鑑賞の際は「要素」について、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えることとされている。¹⁵⁾津田は高倉(2019)において、この点については、聴き取ったことと感じ取ったこととのそれぞれを自覚し、確認しながら結び付けていくという思考を働かせることで、聴き取りと感じ取りが深まるように〔共通事項〕の思考力・判断力・表現力等の学習の充実が図られていると解説している。¹⁶⁾

これらのことから、筆者は、音楽科の授業では「聴く活動」を大切にすべきであるという考えに至っている。「聴く活動」としての“ムジカサイズ”の比較聴取の経験を重ねることで、「要素」を視点にした音や音楽の聴き方を身に付けることが、目の前の子どもたちの主体的な音楽表現の工夫と改善につながると考えた。

⑨幅広いジャンルの楽曲を扱うことについて

増田(2019)は、授業のユニバーサルデザインの必要性を述べていて、授業に参加しやすくする工夫が必要であると示している。また、発達段階に適した楽曲を取り扱うことが授業のバリアフリーに繋がるとも述べている。¹⁷⁾

これを受けて、“ムジカサイズ”の比較聴取では、音楽科の教科書で取り扱いのある楽曲だけではなく、子どもたちの中で流行しているポップスやアニメーションの主題歌などの楽曲も積極的に取り扱うようにした。

(6) 手だての効果の検証方法

①「習得型」「活用型」「探究型」の“ムジカサイズ”の効果の検証

まず、「習得型」の“ムジカサイズ”は、筆者の意図した「要素」の知覚・感受ができたかどうか、ワークシートへの記述から「雰囲気的なこと」と「質的なこと」を正しく組み合わせることができているかどうか分析する。「活用型」「探究型」の“ムジカサイズ”は、提示されたり自ら選んだりした特定の「要素」について、音楽表現の工夫と改善に向けた「雰囲気的なこと」と「質的なこと」について、ワークシートへの記述を分析する。

また、ワークシートの授業の振り返りの記述をキーワード分析して、「要素」がキーワードとして何回登場するかどうかを調べ、「要素」の知識化の度合いについて分析する。

以上のことから、“ムジカサイズ”によって「要素」

が知識化され、これを視点にして、音や音楽を思考・判断・共有することができているかどうか、総合的に検証する。

②知覚と感受を正しく組み合わせるワークシートの効果の検証

“ムジカサイズ”のワークシートへの記述や、中心となる学習における鑑賞の感想と授業の振り返りの記述を分析して、「要素」の「質的なこと」と、それによって生み出されている「雰囲気的なこと」を正しく組み合わせ、「要素」とその働きを関わらせて記述することができているかどうか分析し、ワークシートの効果を検証する。

③“ムジカサイズ”を基盤にした年間カリキュラムの作成と授業の構成の検証

年間カリキュラムや授業の構成による全体的な効果は、まず、子どもたちの合唱の実際について、筆者、勤務校のもう1名の音楽科教員、実践を行う学級の担任の合計3人の評価者による評価から検証する。子どもたちが「要素」の視点で音楽表現の工夫ができているかどうか、5月末、7月末、11月末の合計3回の子どもたちの合唱の実際や録音を聴いて、1人が5段階で評価する。合唱曲は、時期に応じた曲として、3回とも同じ曲ではないことにする。

また、アンケートによる実態調査からも検証を行う。4月、9月、1月の合計3回、実態調査を実施して、「要素は知っているか」「音楽表現において要素を意識しているか」などの質問への回答を分析する。

3 実践の実際

(1)「習得型」「活用型」「探究型」の“ムジカサイズ”

①実践の内容と考察

「習得型」“ムジカサイズ”は、共通点の比較聴取の実践と相違点の比較聴取の実践を1つずつ抽出して記述する。「活用型」“ムジカサイズ”は、実践を行うことができた2つの実践のうち1つを記述し、「探究型」“ムジカサイズ”は、実践を行うことができた1つの実践を記述する。

【「習得型」“ムジカサイズ”の実践1】

2つの楽曲の比較聴取を通して、共通点である「要素」の「反復」を知覚・感受し、その働きについて理解する“ムジカサイズ”を実践した。

第1に、共通点を探すように指示をして、「旋律」や歌詞の「反復」が多い[うっせえわ](作詞・作曲:syudou)のサビの部分のAの音源と、「旋律」の「反復」が多い[千本桜](作詞・作曲:黒うさP)のサビの部分のBの音源を比較聴取して、「反復」の知覚・感受を促した。

第2に、共通点に着目しながら、AかBのどちらかの音源の「感じ取った雰囲気」をワークシートに記述して、その雰囲気の因果関係を考えながら「その原因」をワークシートに記述した。

この時に「感じ取った雰囲気」として、「強調するような雰囲気」「訴えるような雰囲気」などの感受したことと、「その原因」として、「同じような言葉を繰り返している」「同じ音程を繰り返している」などの知覚したことを正しく組み合わせて記述することができたのは、約2割の子どもだった。残りの約8割の子どものうちの約2割は、雰囲気は記述することができても、その原因が何であるのか分からなかったり、その逆の場合であったりし、約6割の子どもは全く見当違いなことを記述してしまっていた。これを受けて、比較聴取から共通点である「反復」を捉えさせることは、子どもたちにとって難しい課題であったと認識した。その後、一斉の形態で意見交流を行った。

第3に、共通点が「反復」であることを示すのに加えて、その働きについて説明し、確認として再度AとBの音源を比較聴取した。その後、「反復」という「要素」としてのキーワードを使って、「感じ取った雰囲気」と「その原因」を関わらせながら、AかBのどちらかの音源を聴いた感想を記述し、一斉の形態で感想を交流した。

この時に、「Aの強調するような盛り上がる雰囲気の原因は、歌詞や旋律が反復しているから」というような、知覚と感受を正しく組み合わせ、「反復」とその働きを関わらせて記述することができたのは、約6割の子どもであった。最初の比較聴取の段階よりも、知覚と感受を正しく組み合わせることができた子どもが多くなっているのは、教師より説明を受けたり感想を交流したりすることによって、「反復」とその働きへの理解が深まったためであると考えられる。

【「習得型」“ムジカサイズ”の実践2】

2つの楽曲の比較聴取を通して、相違点である「要素」の「拍子」を知覚・感受し、その働きについて理解する“ムジカサイズ”を実践した。

第1に、相違点を探そうに指示をして、[夜に駆ける]（作詞・作曲：Ayase）の共通する一部分について、4分の3拍子にアレンジされたAの音源と、4分の4拍子にアレンジされたBの音源を比較聴取して、「拍子」の違いの知覚と感受を促した。

第2に、相違点に着目しながら、AかBのどちらかの音源について「感じ取った雰囲気」をワークシート記述して、その雰囲気の因果関係を考えながら「その原因」をワークシートに記述した。

この時に「感じ取った雰囲気」として、「おしゃれな雰囲気」「ジャズ風で優雅な雰囲気」などの感受したことと、「その原因」として、「拍子が違う」「まとまりごとの音の数が違う」などの知覚したことを正しく組み合わせて記述することができたのは、約2割の子どもだった。残りの8割の子どもは、雰囲気は記述することができても、その原因が何であるのか分からなかったり、その逆の場合であったり、「拍子」の違いを誤っ

て「速さ」の違いであると捉えた子どももいた。しかし、「拍子」の違いにつながることや、それに近いことを記述することはできていた。その後、一斉の形態で意見交流を行った。

第3に、相違点が「拍子」であることを示すのに加えて、その働きについて説明し、確認として再度AとBの音源を比較聴取した。その際には、それぞれの音源に合わせて手拍子による拍子打ちをして、4分の3拍子と4分の4拍子の違いを体感した。その後、「拍子」という「要素」としてのキーワードを使って、「感じ取った雰囲気」と、「その原因」を関わらせながら、AかBのどちらかの音源を聴いた感想を記述し、一斉の形態で感想を交流した。

この時に、「Bのおしゃれな雰囲気の原因は、流れるような4分の3拍子だから」というように、知覚と感受を正しく組み合わせ、「拍子」とその働きを関わらせて記述することができたのは、約6割の子どもであった。最初の比較聴取の段階よりも、知覚と感受を正しく組み合わせることができた子どもが多くなっているのは、やはり、教師より説明を受けたり感想を交流したりすることによって、「拍子」とその働きへの理解が深まったためであると考えられる。

【「活用型」“ムジカサイズ”の実践】

[キエフの大門]（作曲：ムソルグスキー、編曲：金子健治）のアルトリコーダー練習において、「要素」の「音色」を活用して更なる音楽表現の工夫と改善を目指す“ムジカサイズ”を実践した。

第1に、活用する「音色」をキーワードとして提示し、「音色」を視点にした活動を行うことに共通理解をもった。その後、[キエフの大門]の子どもの演奏の録音において、モデルとなる「音色」であるAの音源と、タンギングが明瞭ではなく、息の送り方にも問題があり、「音色」に課題のあるBの音源を比較聴取し、相違点を考えながら音楽表現の工夫と改善のための方向性を考えた。どのようなアルトリコーダーの「音色」が美しく、どのような雰囲気が自分たちの目指す「音色」であるのかを気づき、自覚することが重要であると考えて、働きかけを行った。ここで、本実践の手立てや計画にはないことであるが、「GIGA スクール構想」の一環として本年度より勤務校に導入された、iPadとそのアプリの「ロイロノート」を活用し、感じ取った雰囲気について意見を即時交流する取組を実践した。資料1は、意見を即時交流したときのスクリーンショットである。意見の即時交流によって、他者の意見に共感したり、他者の意見を自分の学びに取り入れようとしたりする子どもたちの姿は、新しい学びの在り方や可能性を示唆するものであった。その後、[キエフの大門]が作曲されるモチーフとなった絵画の画像や大門の写真を提示して、子どもたちのイメージを膨らませた。そして、「音色」を視点にして、「どのような雰囲気

[資料1]

堂々として、力強い雰囲気	A...なめらかで、落ち着いた雰囲気。	Aは滑らかで優雅なイメージ	Aは、音に抑揚が少なく華やかさを感じられましたが
Aは穏やかな雰囲気	Aは堂々としている	Aはなめらかで静かな雰囲気	Aの雰囲気滑らかな感じBと比べて自信がある
Aの雰囲気一つ一つの音が力強く、とても堂々としているのが感じられました。	A:優雅な雰囲気	[A]・滑らかで音がのびのびしている	
A. なめらかでしっとり	Aなめらかでゆったりしている雰囲気	Aは音を的確に取っている。滑らか。	Aは音が滑らか

気」を音楽表現で具現化したいのか、そのためには、どのような演奏方法で「どのような音色」を演奏したいのかを個別の形態で考えて、それぞれの意見をワークシートに記述した。

第2に、3人小グループの形態になって、それぞれの意見を交流しながら、実際にアルトリコーダーを演奏し合っただけで音楽表現を試行錯誤した。その後、「音色」に関わる音楽表現の工夫と改善に対する思いや意図、そして、そのための演奏方法を3人の意見としてまとめ、ワークシートに記述した。この活動では、より明瞭なタンギングをして、音の立ち上がりが鋭い「音色」を目指したグループと、明瞭ではないタンギングをしたり、あえてタンギングをしないようにしたりして、音の立ち上がりが緩やかな「音色」を目指したグループが、ちょうど半々くらいの割合で見受けられた。音の立ち上がりが緩やかな「音色」を目指したグループについては、アルトリコーダーの演奏では、タンギングをするのが大衆であることを理解していた。活動の冒頭で取り扱った、タンギングが明瞭ではないBの音源の「音色」が、[キエフの大門]が作曲されるモチーフとなった絵画の画像や大門の写真と合致すると考えて、このような演奏方法を選択したようである。

第3に、一斉の形態において、3人小グループの代表者が、まとめた3人の意見とアルトリコーダーの実際の演奏を発表した。ここで、発表を聴いている子どもたちは、自分の演奏に取り入れたいと思ったことをワークシートに記述にした。その後、中心となる学習活動[キエフの大門]のアルトリコーダー練習に入り、それぞれが目指す「音色」に関わる演奏方法を練習して、最後に一斉に演奏した。

この「活用型」“ムジカサイズ”の実践では、「ロイロノート」を活用したために時間がかかり、10分前後の短時間活動の枠に収めることはできなかった。

【「探究型」“ムジカサイズ”の実践】

[手紙～拝啓十五の君へ～] (作詞・作曲：アンジェラ・アキ) のモデルとなる合唱の動画を鑑賞して、特定の「要素」の視点で自分たちの音楽表現に取り入れたいことを探し、更なる音楽表現の工夫と改善を目指

す“ムジカサイズ”を実践した。

第1に、[手紙～拝啓十五の君へ～]のモデルとなる合唱の動画を鑑賞した。その際には、自分たちの合唱に取り入れたいことを特定の「要素」を視点にして探すように指示をした。これは、学習の明確化・焦点化を図り、1つの「要素」について探究しやすくするためである。その後、どのような特定の「要素」を視点にするのかを決定し、その「要素」が醸し出している「どのような雰囲気」を取り入れたいのか、そして、具体的に「どのような歌い方」で、その雰囲気が醸し出されているのかを個別の形態で考えて、それぞれの意見をワークシートに記述した。この活動では、「強弱」「音色」「フレーズ」「反復」「速度」「テクスチャ」「構成」が、視点にする「要素」として選ばれていた。中でも多かったのは、「強弱」であり、音楽表現の工夫と改善において、子どもたちにとって考えやすいものが「強弱」であることが明らかになった。加えて、約6割の子どもが、「どのような雰囲気」を取り入れたいのかという「雰囲気的なこと」と、具体的に「どのような歌い方」をしているのかという「質的なこと」を正しく組み合わせて記述することができていた。

第2に、3人小グループの形態になって、それぞれの意見を交流し、新しく学んだことや参考になったことをワークシートに記述した。本来この場面では、実際に歌って示し合いながら意見交流をしたり、共に歌って試行錯誤したりする活動を取り入れる予定であったが、コロナ禍による活動制限を受けて断念した。

第3に、一斉の形態において、3人小グループの代表者が、グループの意見交流でどのような意見が出たのかを紹介し合った。その後、中心となる学習活動[手紙～拝啓十五の君へ～]の合唱練習に入り、それぞれが取り入れたいと思ったことを意識しながらパート練習を行った。

②実践の検証

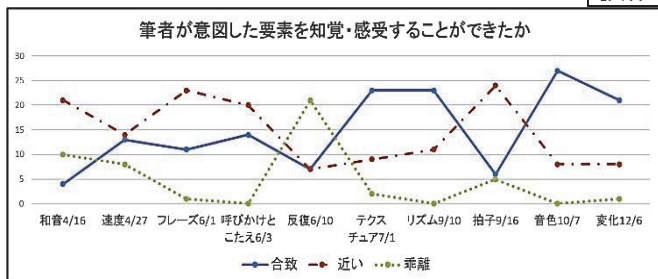
実践の効果は、まず、「要素」の知覚・感受ができたかどうか、ワークシートへの記述を分析して検証した。

分析にあたり、筆者の意図した「要素」について、知覚・感受を正しく組み合わせて記述することができた場合を「合致」とした。そして、「リズム」について「元気な雰囲気」を感じ取り、その原因である「複雑なリズム」について「速度が速い」と誤って捉えて記述してしまうような、知覚したことや言葉の表現にずれがある場合を「近い」とした。さらに、知覚・感受を正しく組み合わせることができなかつたり、見当違いなこと記述したりした場合には、「乖離」とした。

資料2のように、実践開始当初の4月の「和音」に焦点化した授業では、「乖離」の状態の子どもは10人、「近い」の状態の子どもは21人であり、「合致」の状態の子どもの数と比べると多かったが、12月頃には、「乖離」と「近い」の状態の子どもは少なくなり、「合

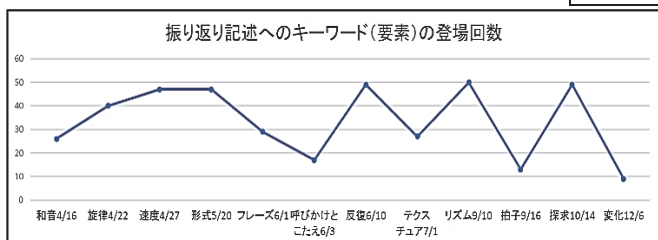
致」の状態の子どもが多くなっている。これを受けて、継続的に実践を行うことによって、「要素」の知覚・感受ができるようになってきていると言える。ただし、資料2を見ると、「合致」「近い」「乖離」の状態の子どもの人数は、「要素」によって増減の変化が激しいことが分かる。これは、「要素」や教材によって、知覚と感受を捉えにくいものがあつたことが考えられる。

【資料2】



次に、ワークシートの「授業の振り返り」への記述をキーワード分析して、「要素」がキーワードとして何回登場するかを調べた。登場する回数によって、「要素」の知識化の度合いを検証する考えであったが、資料3のように、「要素」によって、登場する回数の増減が非常に激しいという結果が表出した。この原因を考察すると、実践日によっては、「ムジカサイズ」による導入から中心となる学習活動へうまくつながらなかったという心当たりがあり、登場する回数の落ち込みが大きい「要素」と、ある程度は合致していた。これに加えて、「要素」や教材によって、知覚と感受を捉えにくいものがあつたことも考えられる。

【資料3】



(2) 知覚と感受を正しく組み合わせるワークシート

①実践の内容と考察

【習得型】“ムジカサイズ”のワークシート

資料4のワークシートは、[なんでもないや] (作詞・作曲：野田洋次郎) のオーケストラによる演奏と、少人数器楽による演奏を比較聴取した活動のものである。

第1に、音源AとBの比較聴取によって、感受した「雰囲気の違い」を①に記述してから、その「雰囲気の違い」の因果関係を考えながら、捉えた質的なことを「その原因」として②に記述した。

第2に、本時に取り上げている「要素」を教師が示して③に記述し、その働きの説明を聞いて「要素」への理解を深めた。

第3に、①に記述した「雰囲気の違い」と②に記述した「その原因」を組み合わせ、「要素」をキーワードとして用いて、その働きを関わらせながら、音源を聴

いた感想を記述した。

雰囲気や、その原因などをワークシートに記述する際には、音源のAかBのどちらかを選んで記述するようにしている。

【資料4】

ムジカサイズ	① 感じ取った雰囲気の違いを書きましょう。 A・③は「AかBを選んで〇を付ける」 ポイントがある。大きな感じ。感動的。リアリスな感じ。	② その雰囲気の違いの原因は何だと思いますか。 Aはカラオケ的な感じで、テンパリンが楽しそう。森 Bはオーケストラ、ぼく、たくさんの楽器を使っている。
	③ 今日の「音楽を形づくっている要素」は [テクスチュア]	
ホレロ	④ AとBのどちらかの曲について、③ [] に書き入れた言葉を使い、感じ取った雰囲気と関わらせながら感想を書きましょう。 A・③は「AかBのどちらかを選んで〇を付ける」 たくさんの楽器を使うことで、大きなテクスチュアになっており、感動的になっている。	
	⑤ テクスチュアについて感じ取った雰囲気の違いや、その原因について書きましょう。 最初は2つだけ、ボクがなテクスチュアだったけど、中盤になると、たくさんの楽器がどんどん入って、同じと3でもかなり違う雰囲気を感じた。	

【活用型】“ムジカサイズ”のワークシート

資料5のワークシートは、[手紙～拝啓十五の君へ～]の合唱を取り扱った活動のものである。

第1に、本時の授業において取り上げる「要素」を教師が示して、①に記入した。

第2に、子どもたちが学習中の合唱曲やリコーダーの楽曲について、自分たちの歌唱や演奏の録音とモデルとなる歌唱や演奏を取り上げている「要素」の視点で比較聴取した。

第3に、「要素」の視点で、「どのような雰囲気で歌いたい(演奏したい)か」を②に記述した。その後、②に記述した雰囲気を具現化するためには、具体的に「どのように歌うと(演奏すると)良いのか」を考えて、「要素」と関わらせながら③に記述した。

【資料5】

ムジカサイズ	① 今日の「音楽を形づくっている要素」は [強弱]
	② 提示された部分は、どのような雰囲気を感じたいですか。①に記入した「音楽を形づくっている要素」を考えながら答えましょう。 ※雰囲気を表す言葉の例 → 華やかな、嬉しい、軽やかな、活気がある、よどんだ、盛り上がった、駆け上がるようななど。 自信をもって、明るい雰囲気(サビ) サビに1回、2回、3回、4回、5回、6回、7回、8回、9回、10回、11回、12回、13回、14回、15回、16回、17回、18回、19回、20回、21回、22回、23回、24回、25回、26回、27回、28回、29回、30回、31回、32回、33回、34回、35回、36回、37回、38回、39回、40回、41回、42回、43回、44回、45回、46回、47回、48回、49回、50回、51回、52回、53回、54回、55回、56回、57回、58回、59回、60回、61回、62回、63回、64回、65回、66回、67回、68回、69回、70回、71回、72回、73回、74回、75回、76回、77回、78回、79回、80回、81回、82回、83回、84回、85回、86回、87回、88回、89回、90回、91回、92回、93回、94回、95回、96回、97回、98回、99回、100回、101回、102回、103回、104回、105回、106回、107回、108回、109回、110回、111回、112回、113回、114回、115回、116回、117回、118回、119回、120回、121回、122回、123回、124回、125回、126回、127回、128回、129回、130回、131回、132回、133回、134回、135回、136回、137回、138回、139回、140回、141回、142回、143回、144回、145回、146回、147回、148回、149回、150回、151回、152回、153回、154回、155回、156回、157回、158回、159回、160回、161回、162回、163回、164回、165回、166回、167回、168回、169回、170回、171回、172回、173回、174回、175回、176回、177回、178回、179回、180回、181回、182回、183回、184回、185回、186回、187回、188回、189回、190回、191回、192回、193回、194回、195回、196回、197回、198回、199回、200回、201回、202回、203回、204回、205回、206回、207回、208回、209回、210回、211回、212回、213回、214回、215回、216回、217回、218回、219回、220回、221回、222回、223回、224回、225回、226回、227回、228回、229回、230回、231回、232回、233回、234回、235回、236回、237回、238回、239回、240回、241回、242回、243回、244回、245回、246回、247回、248回、249回、250回、251回、252回、253回、254回、255回、256回、257回、258回、259回、260回、261回、262回、263回、264回、265回、266回、267回、268回、269回、270回、271回、272回、273回、274回、275回、276回、277回、278回、279回、280回、281回、282回、283回、284回、285回、286回、287回、288回、289回、290回、291回、292回、293回、294回、295回、296回、297回、298回、299回、300回、301回、302回、303回、304回、305回、306回、307回、308回、309回、310回、311回、312回、313回、314回、315回、316回、317回、318回、319回、320回、321回、322回、323回、324回、325回、326回、327回、328回、329回、330回、331回、332回、333回、334回、335回、336回、337回、338回、339回、340回、341回、342回、343回、344回、345回、346回、347回、348回、349回、350回、351回、352回、353回、354回、355回、356回、357回、358回、359回、360回、361回、362回、363回、364回、365回、366回、367回、368回、369回、370回、371回、372回、373回、374回、375回、376回、377回、378回、379回、380回、381回、382回、383回、384回、385回、386回、387回、388回、389回、390回、391回、392回、393回、394回、395回、396回、397回、398回、399回、400回、401回、402回、403回、404回、405回、406回、407回、408回、409回、410回、411回、412回、413回、414回、415回、416回、417回、418回、419回、420回、421回、422回、423回、424回、425回、426回、427回、428回、429回、430回、431回、432回、433回、434回、435回、436回、437回、438回、439回、440回、441回、442回、443回、444回、445回、446回、447回、448回、449回、450回、451回、452回、453回、454回、455回、456回、457回、458回、459回、460回、461回、462回、463回、464回、465回、466回、467回、468回、469回、470回、471回、472回、473回、474回、475回、476回、477回、478回、479回、480回、481回、482回、483回、484回、485回、486回、487回、488回、489回、490回、491回、492回、493回、494回、495回、496回、497回、498回、499回、500回、501回、502回、503回、504回、505回、506回、507回、508回、509回、510回、511回、512回、513回、514回、515回、516回、517回、518回、519回、520回、521回、522回、523回、524回、525回、526回、527回、528回、529回、530回、531回、532回、533回、534回、535回、536回、537回、538回、539回、540回、541回、542回、543回、544回、545回、546回、547回、548回、549回、550回、551回、552回、553回、554回、555回、556回、557回、558回、559回、560回、561回、562回、563回、564回、565回、566回、567回、568回、569回、570回、571回、572回、573回、574回、575回、576回、577回、578回、579回、580回、581回、582回、583回、584回、585回、586回、587回、588回、589回、590回、591回、592回、593回、594回、595回、596回、597回、598回、599回、600回、601回、602回、603回、604回、605回、606回、607回、608回、609回、610回、611回、612回、613回、614回、615回、616回、617回、618回、619回、620回、621回、622回、623回、624回、625回、626回、627回、628回、629回、630回、631回、632回、633回、634回、635回、636回、637回、638回、639回、640回、641回、642回、643回、644回、645回、646回、647回、648回、649回、650回、651回、652回、653回、654回、655回、656回、657回、658回、659回、660回、661回、662回、663回、664回、665回、666回、667回、668回、669回、670回、671回、672回、673回、674回、675回、676回、677回、678回、679回、680回、681回、682回、683回、684回、685回、686回、687回、688回、689回、690回、691回、692回、693回、694回、695回、696回、697回、698回、699回、700回、701回、702回、703回、704回、705回、706回、707回、708回、709回、710回、711回、712回、713回、714回、715回、716回、717回、718回、719回、720回、721回、722回、723回、724回、725回、726回、727回、728回、729回、730回、731回、732回、733回、734回、735回、736回、737回、738回、739回、740回、741回、742回、743回、744回、745回、746回、747回、748回、749回、750回、751回、752回、753回、754回、755回、756回、757回、758回、759回、760回、761回、762回、763回、764回、765回、766回、767回、768回、769回、770回、771回、772回、773回、774回、775回、776回、777回、778回、779回、780回、781回、782回、783回、784回、785回、786回、787回、788回、789回、790回、791回、792回、793回、794回、795回、796回、797回、798回、799回、800回、801回、802回、803回、804回、805回、806回、807回、808回、809回、810回、811回、812回、813回、814回、815回、816回、817回、818回、819回、820回、821回、822回、823回、824回、825回、826回、827回、828回、829回、830回、831回、832回、833回、834回、835回、836回、837回、838回、839回、840回、841回、842回、843回、844回、845回、846回、847回、848回、849回、850回、851回、852回、853回、854回、855回、856回、857回、858回、859回、860回、861回、862回、863回、864回、865回、866回、867回、868回、869回、870回、871回、872回、873回、874回、875回、876回、877回、878回、879回、880回、881回、882回、883回、884回、885回、886回、887回、888回、889回、890回、891回、892回、893回、894回、895回、896回、897回、898回、899回、900回、901回、902回、903回、904回、905回、906回、907回、908回、909回、910回、911回、912回、913回、914回、915回、916回、917回、918回、919回、920回、921回、922回、923回、924回、925回、926回、927回、928回、929回、930回、931回、932回、933回、934回、935回、936回、937回、938回、939回、940回、941回、942回、943回、944回、945回、946回、947回、948回、949回、950回、951回、952回、953回、954回、955回、956回、957回、958回、959回、960回、961回、962回、963回、964回、965回、966回、967回、968回、969回、970回、971回、972回、973回、974回、975回、976回、977回、978回、979回、980回、981回、982回、983回、984回、985回、986回、987回、988回、989回、990回、991回、992回、993回、994回、995回、996回、997回、998回、999回、1000回、1001回、1002回、1003回、1004回、1005回、1006回、1007回、1008回、1009回、1010回、1011回、1012回、1013回、1014回、1015回、1016回、1017回、1018回、1019回、1020回、1021回、1022回、1023回、1024回、1025回、1026回、1027回、1028回、1029回、1030回、1031回、1032回、1033回、1034回、1035回、1036回、1037回、1038回、1039回、1040回、1041回、1042回、1043回、1044回、1045回、1046回、1047回、1048回、1049回、1050回、1051回、1052回、1053回、1054回、1055回、1056回、1057回、1058回、1059回、1060回、1061回、1062回、1063回、1064回、1065回、1066回、1067回、1068回、1069回、1070回、1071回、1072回、1073回、1074回、1075回、1076回、1077回、1078回、1079回、1080回、1081回、1082回、1083回、1084回、1085回、1086回、1087回、1088回、1089回、1090回、1091回、1092回、1093回、1094回、1095回、1096回、1097回、1098回、1099回、1100回、1101回、1102回、1103回、1104回、1105回、1106回、1107回、1108回、1109回、1110回、1111回、1112回、1113回、1114回、1115回、1116回、1117回、1118回、1119回、1120回、1121回、1122回、1123回、1124回、1125回、1126回、1127回、1128回、1129回、1130回、1131回、1132回、1133回、1134回、1135回、1136回、1137回、1138回、1139回、1140回、1141回、1142回、1143回、1144回、1145回、1146回、1147回、1148回、1149回、1150回、1151回、1152回、1153回、1154回、1155回、1156回、1157回、1158回、1159回、1160回、1161回、1162回、1163回、1164回、1165回、1166回、1167回、1168回、1169回、1170回、1171回、1172回、1173回、1174回、1175回、1176回、1177回、1178回、1179回、1180回、1181回、1182回、1183回、1184回、1185回、1186回、1187回、1188回、1189回、1190回、1191回、1192回、1193回、1194回、1195回、1196回、1197回、1198回、1199回、1200回、1201回、1202回、1203回、1204回、1205回、1206回、1207回、1208回、1209回、1210回、1211回、1212回、1213回、1214回、1215回、1216回、1217回、1218回、1219回、1220回、1221回、1222回、1223回、1224回、1225回、1226回、1227回、1228回、1229回、1230回、1231回、1232回、1233回、1234回、1235回、1236回、1237回、1238回、1239回、1240回、1241回、1242回、1243回、1244回、1245回、1246回、1247回、1248回、1249回、1250回、1251回、1252回、1253回、1254回、1255回、1256回、1257回、1258回、1259回、1260回、1261回、1262回、1263回、1264回、1265回、1266回、1267回、1268回、1269回、1270回、1271回、1272回、1273回、1274回、1275回、1276回、1277回、1278回、1279回、1280回、1281回、1282回、1283回、1284回、1285回、1286回、1287回、1288回、1289回、1290回、1291回、1292回、1293回、1294回、1295回、1296回、1297回、1298回、1299回、1300回、1301回、1302回、1303回、1304回、1305回、1306回、1307回、1308回、1309回、1310回、1311回、1312回、1313回、1314回、1315回、1316回、1317回、1318回、1319回、1320回、1321回、1322回、1323回、1324回、1325回、1326回、1327回、1328回、1329回、1330回、1331回、1332回、1333回、1334回、1335回、1336回、1337回、1338回、1339回、1340回、1341回、1342回、1343回、1344回、1345回、1346回、1347回、1348回、1349回、1350回、1351回、1352回、1353回、1354回、1355回、1356回、1357回、1358回、1359回、1360回、1361回、1362回、1363回、1364回、1365回、1366回、1367回、1368回、1369回、1370回、1371回、1372回、1373回、1374回、1375回、1376回、1377回、1378回、1379回、1380回、1381回、1382回、1383回、1384回、1385回、1386回、1387回、1388回、1389回、1390回、1391回、1392回、1393回、1394回、1395回、1396回、1397回、1398回、1399回、1400回、1401回、1402回、1403回、1404回、1405回、1406回、1407回、1408回、1409回、1410回、1411回、1412回、1413回、1414回、1415回、1416回、1417回、1418回、1419回、1420回、1421回、1422回、1423回、1424回、1425回、1426回、1427回、1428回、1429回、1430回、1431回、1432回、1433回、1434回、1435回、1436回、1437回、1438回、1439回、1440回、1441回、1442回、1443回、1444回、1445回、1446回、1447回、1448回、1449回、1450回、1451回、1452回、1453回、1454回、1455回、1456回、1457回、1458回、1459回、1460回、1461回、1462回、1463回、1464回、1465回、1466回、1467回、1468回、1469回、1470回、1471回、1472回、1473回、1474回、1475回、1476回、1477回、1478回、1479回、1480回、1481回、1482回、1483回、1484回、1485回、1486回、1487回、1488回、1489回、1490回、1491回、1492回、1493回、1494回、1495回、1496回、1497回、1498回、1499回、1500回、1501回、1502回、1503回、1504回、1505回、1506回、1507回、1508回、1509回、1510回、1511回、1512回、1513回、1514回、1515回、1516回、1517回、1518回、1519回、1520回、1521回、1522回、1523回、1524回、1525回、1526回、1527回、1528回、1529回、1530回、1531回、1532回、1533回、1534回、1535回、1536回、1537回、1538回、1539回、1540回、1541回、1542回、1543回、1544回、1545回、1546回、1547回、1548回、1549回、1550回、1551回、1552回、1553回、1554回、1555回、1556回、1557回、1558回、1559回、1560回、1561回、1562回、1563回、1564回、1565回、1566回、1567回、1568回、1569回、1570回、1571回、1572回、1573回、1574回、1575回、1576回、1577回、1578回、1579回、1580回、1581回、1582回、1583回、1584回、1585回、1586回、1587回、1588回、1589回、1590回、1591回、1592回、1593回、1594回、1595回、1596回、1597回、1598回、1599回、1600回、1601回、1602回、1603回、1604回、1605回、1606回、1607回、1608回、1609回、1610回、1611回、1612回、1613回、1614回、1615回、1616回、1617回、1618回、1619回、1620回、1621回、1622回、1623回、1624回、1625回、1626回、1627回、1628回、1629回、1630回、1631回、1632回、1633回、1634回、1635回、1636回、1637回、1638回、1639回、1640回、1641回、1642回、1643回、1644回、1645回、1646回、1647回、1648回、1649回、1650回、1651回、1652回、1653回、1654回、1655回、1656回、1657回、1658回、1659回、1660回、1661回、1662回、1663回、1664回、1665回、1666回、1667回、1668回、1669回、1670回、1671回、1672回、1673回、1674回、1675回、1676回、1677回、1678回、1679回、1680回、1681回、1682回、1683回、1684回、1685回、1686回、1687回、1688回、1689回、1690回、1691回、1692回、1693回、1694回、1695回、1696回、1697回、1698回、1699回、1700回、1701回、1702回、1703回、1704回、1705回、1706回、1707回、1708回、1709回、1710回、1711回、1712回、1713回、1714回、1715回、1716回、1717回、1718回、1719回、1720回、1721回、1722回、1723回、1724回、1725回、1726回、1727回、1728回、1729回、1730回、1731回、1732回、1733回、1734回、1735回、1736回、1737回、1738回、1739回、1740回、1741回、1742回、1743回、1744回、1745回、1746回、1747回、1748回、1749回、1750回、1751回、1752回、1753回、1

[資料6]

ムジカサイズ	① 自分たちの合唱に取り入れたいと思ったことは、「音楽を形づくっている要素」の 〔音色〕である。
	② ①に記入した「音楽を形づくっている要素」が かもし出す (出している)、どのような雰囲気を取り入れた いたと思いますか。 ※雰囲気を表す記述例 → 華やかな、重たい、軽やかな、活気がある、よどんだ、盛り上がった、盛り上がるようななど。 サビ前は「やわらかく歌うことで優しい雰囲気」で、サビからは「ゆしほまりと歌うことで言葉を中心に響かせる感じを出そう」と思いました。
	③ ②に記述した雰囲気は、「音楽を形づくっている要素」が具体的にどうなっていることで、かもし出されている (出ている) と思いますか。 ※記述の例 → 「強弱」であれば、「強弱の変化を強くすることで、曲全体に躍動感が大きく付いている」とか。 「やわらかく歌う所」と「ゆしほまりと歌う所」を分けることで「サビが大切で聴く人に届くように歌える」と思いました。

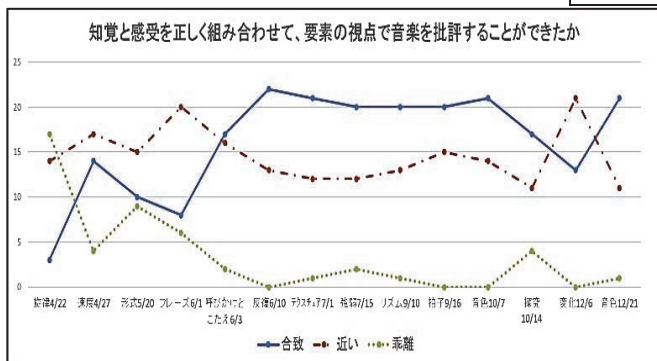
②実践の検証

実践の効果は、ワークシートへの記述を分析して検証した。

分析にあたり、「要素」の「質的なこと」と「雰囲气的なこと」を正しく組み合わせ、「要素」とその働きを関わらせて記述することができている場合を「合致」とした。そして、「強弱」の「迫力のある雰囲気」を感じ取り、その原因である「強弱が強い状態」について、「迫力のある雰囲気の原因は、音が高くなっていることにある」と誤って記述してしまうような、「質的なこと」と「雰囲气的なこと」を正しく組み合わせることができていない場合などを「近い」とした。さらに、「華やかな雰囲気の原因は、音色が小さいことにある」というような、知覚・感受を正しく組み合わせることができなかつたり、記述に矛盾があつたりする場合を「乖離」とした。

資料7のように、実践開始当初の4月の「旋律」に焦点化した授業では、記述が「乖離」の状態の子どもが17人と多く、「合致」の状態の子どもは3人と少なかったが、12月頃には、「乖離」の子どもは少なくなり、「合致」「近い」の状態の子どもが多くなっている。これを受けて、継続的に実践を行うことによって、知覚と感受を正しく組み合わせ、「要素」とその働きの視点で音や音楽を批評することができる子どもが増えたと言える。ただし、資料7を見ると、「合致」「近い」「乖離」の状態の子どもの人数が、「要素」によって増減の変化が激しいことが分かるように、やはり、資料2や3の場合と同様に、「要素」や教材によって、知覚と感受を捉えにくいものがあつたことが考えられる。

[資料7]



(3) “ムジカサイズ” を基盤にした年間カリキュラムの作成と授業の構成

①実践の内容と考察

【年間カリキュラムの実際】

本稿9ページの資料10は、本実践で作成した年間カリキュラムである。教材やその時間ならではの「要素」を抽出して、より多くの種類の「要素」を取り扱うことができるように考慮してあるが、「動機」や「序破急」など、取り扱わなかったものもある。教材については、授業のユニバーサルデザインを目指し、“ムジカサイズ”の比較聴取において、流行しているポップスやアニメーションの主題歌などの楽曲を積極的に取り扱い、幅広いジャンルの楽曲を取り扱うようにした。

本来、中学3年生の音楽科授業の総時間数は、年間35時間ほどである。しかし、コロナ禍による活動制限を受けたり、行事の延期や中止の影響を受けたりしたため、“ムジカサイズ”を実践することができず、年間カリキュラムの総時間数が少なくなっていることや、表に表記があつても計画通り実践できなかった場合があつたことをご理解いただきたい。

【1時間の授業の構成の実際】

【荒城の月】(作詞：土井晩翠、作曲：滝廉太郎)の歌唱の学習において、「要素」の「フレーズ」を抽出し、指導内容を明確化・焦点化した授業を構成した実践を記述する。資料8は、歌唱の領域における1時間の授業の流れを表にしたものである。

[資料8]

時間	歌唱が中心となる学習活動
8分	器楽(リコーダー)※既習曲等
10分	“ムジカサイズ”(中心の活動につなげる)
2分	歌唱における課題を提示
25分	歌唱(合唱) → “ムジカサイズ”によって、「要素」への理解が深まった状態で、対話的な活動を取り入れながら音楽表現の工夫を試行錯誤し、自分たちのイメージに合致した音楽表現を目指す。
5分	本時の学習を振り返る時間

第1に、導入の“ムジカサイズ”では、資料9のように、「フレーズ」の区切り方が異なるAとBの2種類の【荒城の月】の教師による範唱を比較聴取した後に、その2種類の範唱を真似て歌い、実際に体感しながら聴き取ったことを確認した。Aは、歌詞の特徴である七五調や言葉を無視し、Bは、七五調や言葉を大切に「フレーズ」とした。これによって、雰囲気の違いから因果関係を考へて「フレーズ」の違いを知覚させることをねらつた。この活動では、Bに対して、感じ取つた雰囲気を「自然な雰囲気」「まとまりがあつてなめらかな感じ」などと記述し、その原因として、「ブレスの位置が適切」「音のまとまりが良い」などと記述した子どもが多かつた。ここで、言葉や音楽によって自然に区切られる音楽のまとまりの大切さを考えさせて、「フレーズ」の「働き」について理解を深めて、中心となる学習活動につなげた。

[資料9]

第2に、授業の中心となる【荒城の月】の歌唱活動で

A	はるこうろうのはな [△] のえん
B	はるこうろうのはな [▽] のえん

		“ムジカサイズ”を基盤とした年間カリキュラム (中学3年生)																													
時期		4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
実践回数	型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24						
ムジカサイズ	型	習得	習得	習得	習得	習得	習得	習得	習得	習得	活用	習得	習得	活用	活用	活用	習得	習得	探究	活用	習得	活用	習得	習得	探究	探究					
	活動内容	二種類の『和音』の違いを比較聴取する。	「校歌」の歌詞の朗読と、歌詞を『旋律』にのせた歌唱を比較聴取する。	同一の楽曲において、『速度』の変化のある音源とない音源を比較聴取する。	三曲を比較聴取して、仲間である()の『二部形式』の二曲を探す。	『フレーズ』の区切り方の異なる『荒城の月』を比較したり歌ったりする。	得教師が歌って『呼びかけ』で、子どもが習得して『こたえ』がどうか試す。	得『反復』が特徴的な楽曲二曲を比較聴取し、得て共通点から『反復』を知覚する。	得『反復』が特徴的な楽曲二曲を比較聴取し、得て共通点から『反復』を知覚する。	得『なんでもないや』のオケ演奏と室内音楽演奏を比較聴取する。	得『反復』のある演奏と『反復』を省略した演奏を比較聴取する。	活用自分たちの合唱の録音を聴いて『強弱』の音楽表現の工夫や改善を考える。	得簡単な『リズム』と複雑な『リズム』のドラムパターンを比較聴取する。	得『拍子』のアレンジを比較聴取する。	得『夜に駆ける』の4分の3と4分の4の『拍子』を比較聴取する。	活用音リレーゲームに取り組み、音の繋がりや『旋律』になることを理解する。	活用音リレーゲームに取り組み、音の繋がりや『旋律』になることを理解する。	習得主旋律がピアノ、主旋律がバイオリンの演奏を比較する。	習得『変奏』する演奏と『変奏』が『変化』する演奏を比較する。	探究モデルとなる合唱の映像を視聴して真似で探ることを探す(探究)。	活用と課題のある演奏を比較聴取する。また、思いや意図をもつて『音色』を工夫する。	習得同一の楽曲の歌唱において、ピアノ伴奏と習得通常のバンド演奏を比較聴取する。	活用三連符やタンカ等の『リズム』をたたき、活人の感情との関わりを考える。	習得『春の海』の冒頭部分において、『二通りの』を比較聴取する。	習得『春の海』の冒頭部分において、『二通りの』を比較聴取する。	探究モデルとなる合唱の映像を視聴して真似で探ることを探す(探究)。					
	教材	『名鉄の和音の響き』 『J.Rの不協和音の響き』	『美和中学校校歌』	『速度』	『花』 『春が来た』 『春の小川』	『荒城の月』	『構成』 『呼びかけと響き』	『反復』	『テクスチャ』	『なんでもないや』	『風のとおり道』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『リズム』	『ドラムパターン』二種類	『夜に駆ける』	『音リレーゲーム』	『音リレーゲーム』	『Pretender』	『さらさら星変奏曲』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『紅蓮華』 ピアノ伴奏とバンド演奏	『様々なリズム』	『二通りの』	『春の海』	『谷来前』 『谷来前』	『正解』					
	要素	『和音』	『旋律』	『速度』	『形式』	『フレーズ』	『構成』	『反復』	『テクスチャ』	『なんでもないや』	『風のとおり道』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『リズム』	『ドラムパターン』二種類	『夜に駆ける』	『音リレーゲーム』	『音リレーゲーム』	『Pretender』	『さらさら星変奏曲』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『テクスチャ』	『様々なリズム』	『二通りの』	『春の海』	『谷来前』 『谷来前』	『正解』					
	学習活動の教材	『花』	『美和中学校校歌』	『花』	『荒城の月』	『構成』 『呼びかけと響き』	『反復』	『テクスチャ』	『なんでもないや』	『風のとおり道』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『リズム』	『ドラムパターン』二種類	『夜に駆ける』	『音リレーゲーム』	『音リレーゲーム』	『Pretender』	『さらさら星変奏曲』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『テクスチャ』	『様々なリズム』	『二通りの』	『春の海』	『谷来前』 『谷来前』	『正解』						
	中心となる学習活動の内容	校歌伴奏の『和音』の響きを味わいながら校歌を斉唱する。	『旋律』と歌詞の関わりを考えながら『校歌』や『花』を斉唱する。	『速度』の変化による雰囲気の変化を味わいながら花を斉唱する。	『二部形式』による場面ごとの雰囲気の違いを味わいながら斉唱する。	『フレーズ』と七五調の歌詞の関わりを考えながら斉唱する。	『構成』呼びかけとこたえになっているところを探しながらパート練習する。	『反復』が用いられている場面を探しながら『信じる』を聴く。	『ボレロ』の冒頭と中盤の『テクスチャ』を比較聴取する。	『なんでもないや』の二つの主題の『反復』を考えながら聴く。	『ボレロ』の二つの主題の『反復』に関わる歌い方で雰囲気を見具現化する。	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『リズム』	『ドラムパターン』二種類	『夜に駆ける』	『音リレーゲーム』	『音リレーゲーム』	『Pretender』	『さらさら星変奏曲』	『手紙』 『拝啓十五の君へ』	『テクスチャ』	『様々なリズム』	『二通りの』	『春の海』	『谷来前』 『谷来前』	『正解』					
	領域		歌唱	歌唱	歌唱	歌唱	歌唱	鑑賞	鑑賞	歌唱	歌唱	創作	創作	創作	創作	鑑賞	歌唱	器楽	鑑賞	歌唱	鑑賞	歌唱	歌唱	歌唱	歌唱	歌唱					
	題材名		歌詞の内容や曲想の変化を味わって				混声合唱の深まり		音楽の構造と曲想との関わりを理解して		混声合唱の深まり		リズムパターンをつくらう			短い旋律の反復を活用した音楽をつくらう		協奏曲の豊かな表現		声唱深り混合のまま		言葉の特性や曲想を生かして	総合芸術に親しもう		郷土の民謡や芸能	卒業の思いを歌にのせて					

は、どのように「フレーズ」を考えて歌うべきなのか、一斉形態の対話的な活動を通して考えたところ、「七五調を大切にすべきである」という意見にまとまった。

第3に、七五調による「フレーズ」の考え方で歌唱練習を行い、最後に全員で斉唱をした。

本来であれば、七五調の七と五で区切ってブレスをする「フレーズ」や、七と五をつなげた場合の「フレーズ」など、3人小グループの形態で歌い合って音楽表現を試行錯誤しながら、より良い音楽表現の工夫を見出す活動を行う予定であった。しかし、コロナ禍による活動制限を受けて断念した。

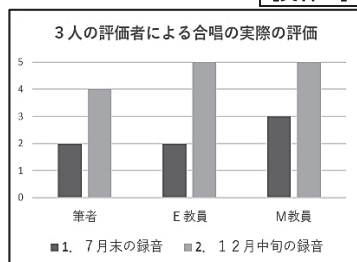
②実践の検証

実践の効果は、子どもたちの合唱の実際の評価とアンケートによる実態調査を分析して検証した。

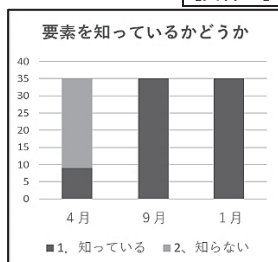
子どもたちの合唱の実際は、当初、5月末、7月末、11月末の合計3回、全て異なる楽曲の合唱を録音して聴き、筆者、勤務校の音楽科E教員、実践を行った学級の担任M教員の3名が、それぞれ5段階の評価をする予定だった。しかし、コロナ禍による活動制限を受け、時期と回数を変更して、7月末と12月中旬の合計2回とし、2回とも同一の楽曲 [手紙～拝啓十五の君へ] の録音を聴いて評価した。資料11は、評価の実際である。どの評価者も、12月中旬の録音の合唱の方が高い点数を付けていて、7月末よりも12月中旬の方が、音楽表現の工夫が充実していたためである。これは、“ムジカサイズ”を基盤にした年間カリキュラムの作成と授業の構成によって、主体的に音や音楽を思考・判断・共有して、音楽表現の工夫と改善につなげ

る活動を継続的に行ってきた成果が表れたためであると考えられる。

【資料11】

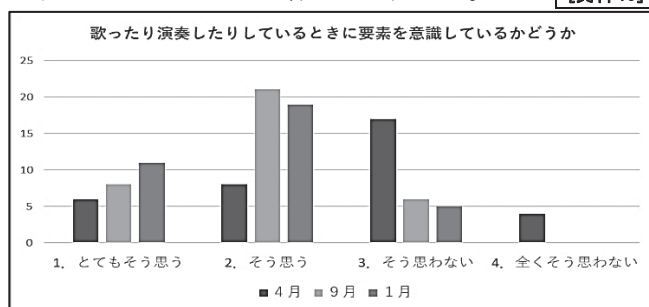


【資料12】



アンケートによる実態調査は、4月、9月、1月の合計3回実施した。資料12のように、実践開始当初の4月には、「要素」を知っていると回答した子どもは9人しかいなかったが、最終的には、全員が知っていると回答をしている。加えて、資料13のように、「音楽表現において要素を意識しているか」という質問に対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した子どもは、合計14人だったのに対し、最終的には、合計30人に増加している。これを受けて、「要素」が知識化されて、「要素」の視点で音楽表現の工夫と改善ができるようになった子どもが増えたと言える。

【資料13】



4 研究の成果と課題

“ムジカサイズ”を基盤にした本実践によって、「要素」とその働きを視点にし、子どもたちが主体的に音や音楽を思考・判断・共有するきっかけを多く作ることができた。“ムジカサイズ”によって、知覚と感受の因果関係を考える経験を積むことで、知覚と感受を正しく組み合わせ、音や音楽について「要素」とその働きの視点で批評することができるようになった子どもも多く存在する。そして、子どもたちが仲間と対話しながら音楽表現について試行錯誤することで、更なる音楽表現の工夫と改善につなげることもできた。

実践開始当初は、「要素」を知らない子どもが多い実態があったが、最終的には全ての生徒において、「要素」の知識化をすることができた。自分たちの思いや意図を具現化するための方法を「要素」を視点にして考えることができるようになったと言えるであろう。

実践を進める中で、歌唱では、「強弱」は捉えやすいが、「速度」を捉えることは難しいことに気がついた。また、器楽におけるリコーダーでは、長調と短調の「和音」の響きや、ピッチによる「和音」の響きの良し悪しは捉えやすいが、「強弱」は捉えにくいことにも気が

ついた。このように、「要素」によっては、歌唱で取り扱った方が良いものや器楽で取り扱った方が良いものが存在するようである。本実践では、領域に応じた「要素」の振り分けや整理が不十分であったため、これを十分に考慮することで、「要素」を知覚・感受しやすくなり、働きの理解へつなげることができると考える。これを今後の課題として、領域に応じた「要素」の振り分けや整理を行いたいと考えている。

引用・参考文献

- 1) 副島和久(2017)「中学校 新学習指導要領の展開」、明治図書、P. 10
- 2) 文部科学省(2018)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説音楽編」、教育芸術社、P. 10
- 3) 副島和久(2017)「中学校 新学習指導要領の展開」、明治図書、P. 21
- 4) 増田謙太郎(2019)「音楽のユニバーサルデザイン 授業づくりをチェンジする」、明治図書、P. 68
- 5) 中島寿・高倉弘光・平野次郎(2017)「音楽の授業で大切なこと～なぜ学ぶのか? 何を、どのように学ぶのか?～」、東洋館出版社、PP. 119-120
- 6) 中島寿・高倉弘光・平野次郎(2017)「音楽の授業で大切なこと～なぜ学ぶのか? 何を、どのように学ぶのか?～」、東洋館出版社、P. 84
- 7) 新山王政和(2011)「新しい視点で音楽科授業を創る!」、スタイルノート、P. 173
- 8) 小島宏(2007)「新教育課程をめざした授業づくり 基礎・基本の定着と問題解決力の育成」、教育開発研究所、P. 49
- 9) 中島寿・高倉弘光・平野次郎(2017)「音楽の授業で大切なこと～なぜ学ぶのか? 何を、どのように学ぶのか?～」、東洋館出版社、P. 117
- 10) 山崎正彦(2012)「見つけよう・音楽の聴き方聴かせ方 新学習指導要領を活かした音楽鑑賞法」、スタイルノート、PP. 40-41
- 11) 小島律子(2015)「音楽科授業の理論と実践」、あいり出版、P. 227
- 12) 江藤晶子・小島律子(2006)「音楽授業において知覚・感受を育てる方法論としての比較聴取—表現の授業の場合—」大阪教育大学紀要、PP. 29-44
- 13) 新山王政和(2011)「新しい視点で音楽科授業を創る!」、スタイルノート、P. 100
- 14) 新山王政和(2011)「新しい視点で音楽科授業を創る!」、スタイルノート、P. 174
- 15) 文部科学省(2018)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説音楽編」、教育芸術社、P. 148 ほか
- 16) 高倉弘光(2019)「音楽授業の「見方・考え方」成功の指導スキル&題材アイデア」、明治図書、P. 11
- 17) 増田謙太郎(2019)「音楽のユニバーサルデザイン 授業づくりをチェンジする」、明治図書、P. 23